

学校評価の考察

昨年12月の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。同時に実施しました児童・職員の結果とあわせてその結果の集約ができました。これから何号かにわたって評価結果の考察や次年度の経営計画についてお知らせします。尚、評価結果の詳細につきましては、船穂小学校ホームページに掲載していますのでご覧いただきたいと思います。

全体的な傾向を知るため、各項目を全員がAを付けた場合を100点として、各項目の得点を計算しました。昨年度の結果と比較して、児童については、昨年度とほぼ同等の結果で82.8点でした。保護者の皆様の評価は、77.4点で昨年度を1.9点上回っています。職員の評価は、72.5点で昨年度の評価を5.7点上回っています。

裏面の表は、評価結果から次年度に取り組むべき課題を見つけるため、下位5項目の結果を昨年度と比較したものです。児童の結果は、「勉強がわかる」「あいさつ」は改善し、「整頓」「誰にもやさしくする」は低下しています。保護者の皆様の結果は、「あいさつ」「家庭学習」「悩み相談」「登下校の指導」は改善し、「勉強がわかる」が低下しています。職員は、「あいさつ」「悩み相談」「登下校の指導」「勉強がわかる」「家庭学習」「家庭連絡」は改善し、「生活環境」が低下しています。

職員は、課題を解決するために努力したと評価し、皆様も、取り組みの成果をある程度評価して下さったと考えられます。しかし、児童は、自らの学習や生活が改善したとは意識していない結果です。児童が実感してこそ評価されるべきものですから、職員とともに引き続き努力していきたいと考えています。

自由筆記として、いじめ防止の取り組みや学習に関する意見、登下校の安全確保を求める意見が多く寄せられました。子どもたちが安心して皆と楽しく生活でき、学習によってわかったできたと実感出来ることが学校に求められる基本的な機能ですから、職員とともにご意見の重みについて話し合いました。また、教師の言動に関するご意見は職員全員が真摯に受け止め改めるよう指導いたしました。寄せられたご意見をすべて実現していくことは難しいとは思いますが、出来る限り来年度の経営計画に反映させたいと考えています。